

ちくじょう 議会だより



成人式実行委員の皆さん

第37号

発行 築上町議会 **発行責任者** 議長 田村 兼光

議会報編集委員会：委員長 工藤久司・副委員長 宗 晶子
委員 小林和政・有永義正・信田博見・鞘野希昭
揮 毫：水取由梨香さん

〒829-0392 福岡県築上郡築上町大字椎田891-2
築上町のホームページアドレス <http://www.town.chikujo.fukuoka.jp/>
築上町議会のEメールアドレス gikai@town.chikujo.lg.jp

議案質疑…………… 2

一般質問…………… 3

平成27年12月(第4回)定例会

議案質疑

議案第70号

平成27年度築上町一般会計補正予算(第5号)について

問 武道修司議員

防犯対策費の防犯カメラは、どういう形で、いつ設置をするのか。

答 則行総務課長

椎田駅、築城駅に各1台ずつ、予算が通り次第、設置の予定です。

問 工藤久司議員

農地集積・集約化対策事業交付金の事業内容は。

答 今富産業課長

農業者がリタイアする時に一定額が入る経営転換協力金と、地域で農地集積をすると、1反当たり2万8000円の集積金の



日奈古グラウンド

答 中野商工課長

日奈古グラウンドの周辺を整備して、企業適地の拡大を目指す調査で、地質、水量調査をする町独自の事業です。

問 池亀豊議員

企業誘致費500万円の調査は、県主導のものか。又、確定した具体性はあるのか。

出る地域集積協力金があります。

対象は今津、宇留津、東八田、西八田、東高塚の五地区です。

議案第75号

築上町農業委員会の委員の定数条例の制定について

問 宗晶子議員

委員の選定のスケジュール、周知方法、内容について説明を。

答 西畑農業委員会事務局長

1月1日号の広報やホームページ等で町民に周知し、募集をかけます。2月中旬までに決定し、3月議会にかける予定です。首長選任という形になります。

問 宗晶子議員

公募、推薦の内容、女性・青年の登用等の打合せは町長とできているか。

答 西畑農業委員会事務局長

十分な調整はできていない。今、準備中です。

問 池亀豊議員

14名の定数で農家の声が

届くのか。

答 西畑農業委員会事務局長

国で示された人数でありますので、農地利用最適化推進委員とあわせて全体で対応できると考えています。

議案第80号

築上町消防団の定員任用、給与、分限及び懲戒、服務等に関する条例の一部を改正する条例の制定について

問 宗晶子議員

女性消防団創設の目的と、予定している活動内容は。

答 則行総務課長

消防活動のみならず、広報活動、災害時のきめ細かな対応を目指すものです。

問 宗晶子議員

女性消防団の団長、部長が役員会議にはいれるか。

答 則行総務課長

役員会に諮る必要があるが、現状では、はいれると思います。



出初式

一 般 質 問

吉元 成一 議員



空き家について

問 町内の空き家の状況について、何件ぐらいあつて、そのうちの何件ぐらいがすぐ使えるような状態か、少し手を入れれば使えるか等、町はどのように対応しているか。今後の取り組みは。

答 江本企画振興課長

空き家総数239戸、そのうち住居可能なもの115戸、修繕が必要なもの

の87戸、建てかえ等が必要なもの24戸です。調査時点から約4年が経過しており、現時点ではかなり増加していると考えています。対策は、町内の空き家の有効活用を通じて、都市住民との交流の促進、定住の促進による人口減少対策として、平成25年度から築上町空き家バンク事業を実施しています。

利用登録数、契約数とも低調な数値ですので、今後は地方創生総合戦略において、移住・定住に係る重要な施策の一つとして実効性のある取り組みを進めていきたい。

答 進環境課長

建てかえを要する27戸は老朽危険家屋とみなして、環境課のほうで全戸調査を行いました。調査結果をもとに危険な家屋17戸

を選定し、除去の指導を行いました。その結果、1戸は自主的に取り崩し、3戸は町補助事業で取り崩しを実施しています。

環境課職員全員4名で対応していますが、空き家の増加とともに苦情件数が増加する傾向が顕著であり、居住者がいる家屋と異なり、権利関係者特定に手間と時間がかかることから、今後の取り組みは、空き家情報のデータ化を進めて、適正に管理、指導を行っていく予定です。

町の行事と観光行政について

問 町内で年間百数十回ぐらい行事があります。町の観光行政は町が主催で行い、町が仕掛け、魅力のある祭りにしてほしい。

答 中野商工課長

各行事について、商工会・観光協会と内容を精査しながら、記憶に残るようなイベントを心がけていきたい。

答 八野副町長

年間、各課で百数十の行事を組んでいます。行事が多く、動員も多い。職員連絡会等で横の連携を取るようにし、身につくような研修会や行事に取組んでいきたい。



神楽民俗芸能祭

小学校の問題点について

問 下城井小学校は、児童数の減少で毎年複式授業になっていることを保護者が心配している。学校の区割りについて教育委員会はどのように考えているか。

答 亀田教育長

平成18年規則の制定によりまして、旧船迫小学校の児童（安武第2自治会の児童含む）が築城小学校に通学することになりました。そのことが原因と考えられます。教育委員会で校区割について、安武地区の5自治会・船迫自治会を含めて総合的に検討したい。



宗 晶子議員



地域包括ケアシステムの構築について

問 介護保険制度改正に伴う地域包括ケアシステム進捗状況と今後の計画は。

答 平塚福祉課長

地域包括ケアシステムとは介護が必要になっても、住み慣れた地域で暮らし続けることが出来るように、市町村が中心になって、介護だけでなく、医療・生活支援を包括的に切れ目なく提供するシステムです。

本町では平成27年10月より総合事業の整備を進めています。平成28年度中に整備が出来るように計画して

います。

問 住民への周知・理解は進んでいるか。

答 平塚福祉課長

介護予防・日常生活支援総合事業について、広報8月号にのせ、町のデイサービス、ヘルパーの利用者には個別に通知をしています。平成28年2月27日にフォーラム「年をとっても安心して暮らせる町、築上」を計画しています。自治会、老人クラブ等と今後の取り組みを協議していきたい。



ボランティアによる読み聞かせ

築上町学校図書室の現状について

問 築上町の学校司書の役割と雇用形態について説明を。

答 繁永学校教育課長

司書は2名で、10校の小・中学校を1人が週1回5校担当しています。

答 亀田教育長

司書は、教職員と子どもたちのつなぎ役で、図書室に常駐して、積極的に、子どもたちの読書活動が出来るように、手助けすることです。

問 週1回しか学校に行けない。司書が学校に来る日には、児童・生徒の図書室利用が増えています。読解力を上げるためにも、司書を増やしてほしいが。

答 亀田教育長

学校司書の今後の配置については、十分検討していきたい。

問 築上町子供の読書推進計画が施行され10か月経過しました。計画には数値目標すら記載されていません。その進捗状況は。

答 吉元生涯学習課長

今年の2月に計画を策定しました。平成28年度の具体的な取組時に、学校図書担当、ボランティアの人たちに数値目標等について意見を聞きながら進めていきたい。



学校図書室

女性活躍推進法施行に向けた対応について

問 次年度より女性活躍推進法が完全施行されます。地方公共団体は女性の職業生活における活躍の推進に関する法律を勘案して、特定事業主行動計画を策定しなければならないが進捗状況は。

答 則行総務課長

県より12月1日に説明がありました。行動計画の内容を精査するとともに、県や町の関係課とも十分協議を行いながら、女性職員の状況等について、計画を策定したい。



学校図書の紹介コーナー

有永 義正議員



築上町空き家バンク制度について

問 築上町の空き家バンクは、始めてから5年ほど経過しているが、全く実績が上がっていない。どこに原因があるかを確認し、努力していただきたいが。

答 江本企画振興課長

原因として、①空き家所有者への働きかけの不足。②空き家の改修、家財の整理等の問題点がある所有者に対して行政として財政的支援等の施策に欠く。③希望者に対する情報発進不足。という3点の検証をしています。今後、主要な施

策として、①登録件数の増加対策、②空き家バンクの登録及び希望者の増加につながる施策、③不動産取引の免許所有の職員配置等の検討。

最後に申込者、希望者の増加対策として、県内外へ情報発信したいと思っています。

問 9月議会で、来年の4月から八野副町長自らが取り組むという発言もされています。考えは。

答 八野副町長

いろんな相談、情報発進を行う総合的な対策の中で、専従職員等を配置したという思いですし、総合戦略の中で文書化して取り組んでいきたいと思っています。

問 空き家バンクの実績

を上げるために、広報、防災無線等を利用して宅建取引士の免許を持っている人を公募する方法もあるが。

答 八野副町長

移住に対する総合的な窓口ができる職員を置きフオーをしていきたいと思っています。

職員の配置について

問 実績、効率を上げる

ためには、適正な職員配置が重要である。担当の職員の業務内容に兼務が多いのではないか。

答 八野副町長

健全財政を保つ上において現在の人口に対し、正規職員の配置は、適正だと思います。今から人口減少に伴う人口増対策を行うには、ここ5年、10年は少し職員数もふやしていかなければ、いろんな対策は行うことができないのではという思いはあります。

先ほど申しました資格を持った職員、また再任用職員等を採用して、住民生活に支障のない方法で行い、財政の健全と住民福祉の度

合いが必要になると思っています。

問 企業誘致に関しては、

光通信網の整備、進出企業への優遇措置の改善等、企業誘致に必要な案件が築上町でも整備されてきています。東九州自動車道の全面開通し便利になった。

商工課から企業誘致係を切り離して、企業誘致課として再発する考えはないか。

答 八野副町長

築上町内の企業を、大切にする施策、税の優遇政策等の施策を考えることを優先的に言い、関連する企業に来ていただき、築上町内で大きく羽ばたける政策を今から行っていきたいと思っています。

町遊休地の活用について

問 町の遊休地を整備して住宅用地に活用する考えはないか。

答 八野副町長

現状の評価で固定資産評価額以上という条件をつけて売り出せばと、考えているところです。



「コモンパーク上毛彩葉」分譲地

武道 修司議員



町有地の管理について

問 必要のない町有地（残地等）の管理をどのように考えているのか。

答 八野財政課長

広報紙、ホームページで町有地を公売する形で検討しています。1筆のままの残地は、建設課で、分筆等の諸手続を行った後に、公売する検討をしています。

問 将来的に必要なない土地を処分すれば、管理費の負担がかからない。土地を個人売却すれば、固定資産税で町にお金が入ってくる。

処分しなければならぬ面積は。

答 八野財政課長

普通財産は、約2万1000平米ぐらいありますが、道路の残地は、把握していません。

問 収支計画を立てて行動していただきたい。

答 八野副町長

公共財産等管理計画を作り、将来的には計画書を立てる予定にはなっていない。基準要綱をつくって、議会に相談して、スムーズに行けるようにしたいと思っています。

職員の対応について

問 住民の要望に対して、どのような対応をしているのか。

答 八野副町長

職員連絡会できちんと対応する。通知通達はして、

前向きに取り組んでいきたいと思っています。



築上町庁舎

小中一貫体制について

問 昨年から検討している小中一貫教育の進捗状況はどのようなになっているのか。

答 亀田教育長

現在の学校の状況、実態の状況からは、施設一体型は考えられません。施設の分離型で、小中の接続、つ

なぎをスムーズに行うために一貫の教育を目指すという意味で捉えています。小中連携の教育について話し合いを持ってもらっていると伺っています。

問 教育委員会で小中一貫校で5・4制をどうするのかという議論をしたのか。

答 亀田教育長

教育委員会では5・4制や、小中の中学校の建てかえについても十分議論しています。

問 将来像を踏まえてもつと真剣にやっていたきたいが。

答 亀田教育長

今後の学校の施設につきましても、そういう基本的なところはしっかりやっていきたいと考えています。

問 現状の建て方で無駄がないのか。将来を踏まえた教室を作った場合でも、

補助金でカバーできない時は一般財源で確保し、そこまでの投資をするという考え方か。

答 亀田教育長

椎田中学校も、築城中学校に準じる。無駄になることは一切できませんので、その辺を踏まえてやってまいりたいと思います。



椎田中学校



自主防災組織について

問 災害が起きたことを前提に自治会がつくっている地区防災計画がある。この計画に基づき、自治会独自のネットワークを活用し、障害がある方々への緊急時支援を行っている自治会があるのか。

【答】 則行総務課長

自治会単位での緊急支援地域ネットワークについては、把握していませんが、自主的に活動していただき、被災時には、役場からの緊急連絡等に基づいて支援をしていただきたいと考えています。

えています。

問 見守り活動を行っている団体や自治会、民生委員、行政、関係機関のネットワークを持てば、スムーズな支援を行うことができると思うが。



高塚地区防災訓練

【答】 則行総務課長

自治会の枠を超え、社協、民生委員、警察と連携をした活動を自治会が積極的に行っているという聞いています。

役場は、指導的な助言等できる部分があれば、各自

治会の自主防災組織のほうに出向いて指導的なものをお願いしたいと思います。

放課後児童クラブについて

問 築城小学校の放課後児童クラブへは徒歩移動なので、悪天候時の通所は大変困難である。今後の対応は。

【答】 平塚福祉課長

運営審議会で、一昨年に要望があり、悪天候時は、タクシー送迎の対応をしています。

【問】 下城井小学校放課後児童クラブは、道路が暗く狭く分りにくく、送迎が困難である。反射板等を設置する予定は。

答 送迎について、入所案内時に地図を添え、文書でお知らせし、周辺の道路の拡幅、街灯の設置は、自治会の計画等により、関係課、

【答】 平塚福祉課長

障害者の対象としたサービスは、介護給付、訓練等給付、自立支援給付、地域生活支援事業等があります。

地元自治会、保護者等で、今後協議することになるう

障害者総合支援の取組みについて

問 障害を持たれている人は障害の級が低くても支援サービスがなければ、通常の生活を送るのが難しい状況である。一概に区分だけで、切り捨てるのではなく、審査会等の中で検討し、思いやりのあるサービスの提供が必要である。

私たちの地域の互助力が十分に発揮できる施策等も含めて「築上町に生まれ、住んでよかった」と思われるような町にしたい。

障害者総合支援法と、地域生活支援事業のサービスの提供の審査方法進捗状況は。

【答】 平塚福祉課長

現在、障害者福祉サービス、自立支援のうち、介護給付は、豊築1市3町で、豊築障害者支援区分認定審査会を設立しました。ここで障害者支援区分の認定をしていただき、サービスの支給基準に基づき、区分に応じた介護給付の福祉サービスを行っています。

地域生活支援事業は、要項等で基準に沿って、交付サービスを提供している状況です。



高塚地区防災訓練